

一生自分の歯で食べられる社会を目指して・・・



# お口の健康ネットワーク 会報

Oral Health Network Newsletter vol.13. 2012. 7. 10

## 東日本大震災支援活動 ～継続的な歯科保健支援活動を目指して～

p m j 木町通デンタルクリニック 院長 楠本 雅子

PMJ 歯科診療所 院長 黒瀬 真由美

震災後の細かい記憶は日々薄れていっています。覚えているのは原発事故、避難しろといわれたらネコは？仕事は？ 家から出るなど言われたらどうすれば、と、まだ食料燃料共手にはにくい状況であったため怖い思いをしました。

数日後、仙台市荒浜地区に住んでいた患者さんから電話がきました。避難所にいること、予約の日だけに行く事ができないこと、家族4人が津波で行方不明だということなど連絡がありました。ここの家族のうち3人はわたしたちのクリニックの患者さんです。自分は診療室の被害もなく、無事に過ごしているのに、、、身近に多くの悲しみがあふれていました。

そんな頃、川西市の知り合いの先生から電話がはりました。「阪神大震災のときは、こどもたちの歯がたいへんなことになった。避難所に出かけて行ってブラッシング指導やおやつ指導をしっかりしてください」なんと返事をしたらいいかわかりませんでした。

たまたま友人のお姉さんが亘理町の小学校勤務の養護教諭でした。避難所の食事の様子や生活について、食事には（それしかないからですが）「仙台銘菓萩の月」が毎回出ること、また歯を磨こうにもハブラシも歯みがき剤も水も充分ではないことなどを教えてくれました。それを聞き、避難所でフッ化物洗口をしてもらうことはできないだろうかと思い、避難所に出かけていきたいと思

いました。

当 NPO 理事長の渡邊達夫先生にメールでお伺いしたところ、全面的に協力するからぜひ進めてくださいとの励ましをいただきました。東北大学田浦勝彦先生や当 NPO 法人などが全国に呼びかけ支援物資を集め準備が始まりました。歯科医師会館も大学もそうだったと思いますが、診療室がしばらくの間は支援物資でいっぱいになりました。そして移動のための車、3月27日日曜日、1日かかりで三箇所のガソリンスタンドに並び満タンにできました。

そしてその翌週、4月3日日曜日、石巻の門脇中学校にいらっしゃる方のもとへ参りました。いざ避難スペースに入ってしまったものの、どうしてよいかかわからず、歯みがき剤やハブラシなどを詰め込んだカゴを持って立っていると、すぐ脇に座っていらっしゃる女性が「どうされましたか？ハブラシなどを持ってきてくださったのですか？」と優しく声をかけてくださいました。「はい」と答え、そのあと「お口のことで何か困っていらっしゃることはないでしょうか？足りないものはないでしょうか？」と尋ねることができました。さらに「もしよろしかったらハグキのためにとてもよい歯みがきの方法があるのですが、させていただくことはできますか？」とお話いたしました。快く応じてくださり、つまようじ法ブラッシングをさせていただくことができました。

その後は日曜日毎に、田浦先生や東北大学の先生たち、また集まってくださった歯科衛生士さん

といっしょに石巻、雄勝、北上などを回りました。話すことが苦手なわたしは、ブラッシングをさせていただき、お互いの緊張がすこしほぐれたところで、フッ化物洗口剤やフッ化物配合ハミガキ剤の使い方の説明をさせていただくようにしていました。

そしてゴールデンウィークには黒瀬真由美先生が3日連続で避難所でのボランティアに参加してくれました。そのころは遠方から来てボランティアに参加してくださる先生方といっしょに仙台空港に近い宮城県亶理町におじゃましていました。そしてある日、亶理町にあるコミュニティスペース「いちごっこ」を訪ねる日がきました。

ーここから黒瀬が担当しますー

それは、仙台の楠本先生と岡山の黒瀬が偶然同じニュース番組（NHK 朝 6 時台の「おはよう日本」）を見ていたことから始まりました。「被災者の方々に温かくてバランスのとれた食事を提供したい」と立ち上がったカフェレストラン「亶理いちごっこ」（後に NPO 法人となる）が紹介されていました。今後どのような活動をしていこうかと考えていた時期でもあり、何かきっかけがつかめればと「亶理いちごっこ」を訪ねたのは7月31日のことでした。

まずは美味しいお食事をいただき、スタッフの方々に術者磨きをさせていただき、そして活動の経緯などを話しました。「亶理いちごっこ」は被災者支援のために実にいろいろな活動をされている組織です。

私たちは5月から9月までの延べ9日間、亶理町内の避難所と仮設住宅を回って、歯科保健用品の配布、フッ化物歯面塗布、義歯清掃、術者磨きなどをさせていただき、また、いろいろとお話を伺ったりしてきました。その後、仮設住宅への訪問活動は宮城県歯科医師会が行うことになりました。そこでその後は「亶理いちごっこ」の活動に合わせて、支援物資の仕分け作業、配布作業などを手伝ったり、イベント会場で歯科保健用品を

配布したりという活動を行うようになりました。その中から、被災地と非被災地を繋ぐ活動も行ってきました。今後どのような支援活動を行っていくか、模索しているところです。

被災地での支援活動は被災直後の緊急歯科治療・口腔ケアが重要であることは言うまでもありませんが、この活動を一過性のものに終わらせるのではなく、これを機に町民の口腔状態の向上に資するべく、復興までの長期にわたる継続的支援を行っていきたいと考えています。そのためには「亶理いちごっこ」のような地元の支援団体や歯科医師会などと連携をとり、被災地の方々に寄り添う活動が不可欠と思います。

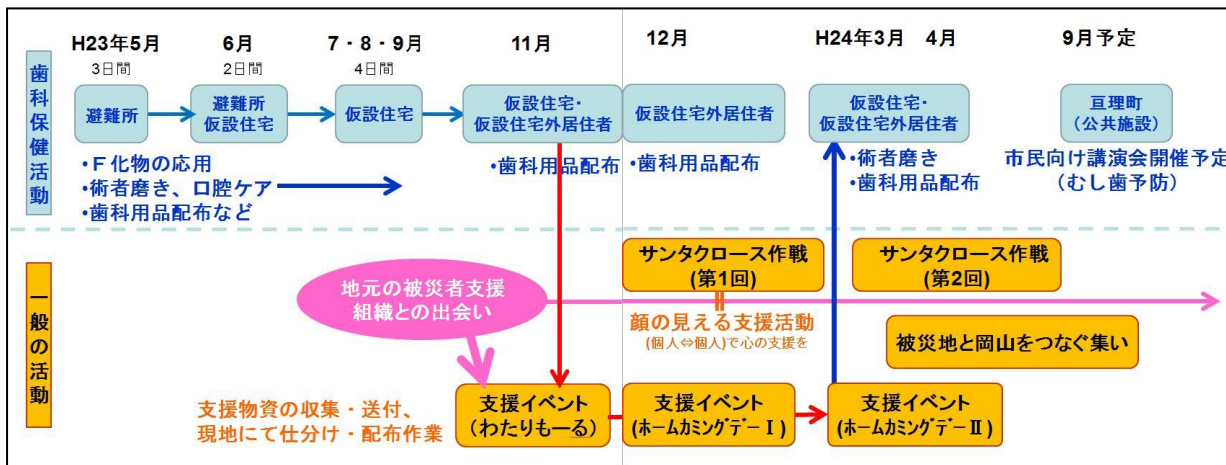
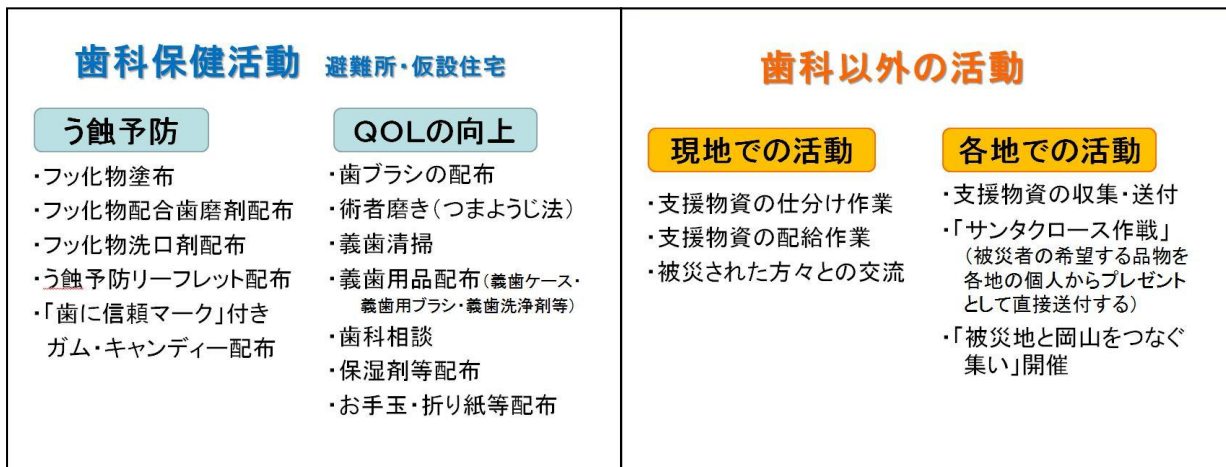
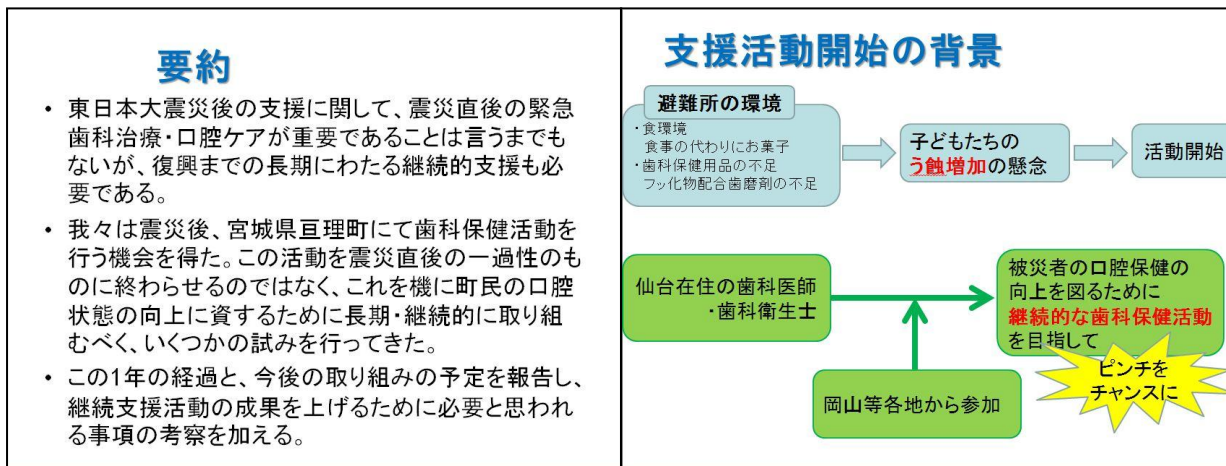
この活動を通して、楠本先生もよく言われているのですが、「術者磨きのできる歯科医師で良かった」とつくづく感じています。「つまようじ法」による術者みがきを行うことにより、被災者の方々がとても喜んでくださいました。「つまようじ法術者磨き」の力は、言葉ではなく、行動（行為）で、こちら側の「何か役に立ちたい」という気持ちの表現ができたところにある（by Dr 楠本）と思います。

今年の3月、「亶理いちごっこ」主催のイベントに来場された被災者の方を楠本先生が術者みがきした時のこと。「まあ！こんなにいい歯みがき方法があったのねー。知らなかったわ。ここに来て良かったー。来なければ一生この方法と出会わなかったかもしれないものね。私、一年間ずっと引き籠っていたけれど、やっぱり引き籠ってちゃだめねー。出歩かなきゃ。」とおっしゃったのです。被災地には引き籠ったままの方々がまだまだたくさんいらっしゃるようです。この方はこれを機会に外に出て行かれるのではないのでしょうか。

むし歯予防に関しても、東北大学の田浦先生のご尽力により、亶理町内の幼稚園・保育園でフッ化物洗口が開始されました。また、9月には当 NPO で亶理町にてむし歯予防の講演会、術者磨き体験会を行う予定です。

今後とも、地元と連携を取りながら支援活動をしていきたいと思ひます。ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

(この活動について、先日の第 61 回日本口腔衛生学会総会にてポスター発表をいたしました。以下ご一読いただければ幸いです。)





<p><b>今までの活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科保健用品の配布 ex) 義歯ケース 計500個配布</li> <li>・ 術者磨き</li> <li>・ 義歯清掃</li> <li>・ フッ化物塗布</li> <li>・ 歯科相談</li> </ul> <p>東北大 田浦先生の働きかけにより、園でのフッ化物洗口開始</p>	<p><b>今後の活動予定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仮設以外居住者に対する歯科保健活動</li> <li>・ 町民を対象としたむし歯予防講演会</li> <li>・ 被災地と岡山をつなぐ活動の継続 (岡山市民の被災地訪問 サンタクロース作戦第3回 等)</li> <li>・ 集団的フッ化物洗口の拡大</li> </ul>
--	--

**考察・まとめ**

**被災地における歯科保健活動**

- ・ 被災直後におけるハイリスク者への口腔ケア
- ・ 復興までの長期に亘る継続的支援 ← 今回の取り組み

**歯科保健活動継続のために必要と思われること**

- ・ 地元組織との連携
  - ・ 被災者を支援する組織・ボランティア団体
  - 被災者対象の支援イベント等への参加・協働
  - イベント等にこない(来られない)人への働きかけをどうするか
- ・ 地元の歯科医師会
- ・ 歯科以外の活動を通しての被災地とのつながり
  - ・ 被災者との直接交流
  - ・ 被災地と各地をつなぐ活動の継続

楠本 雅子 (くすもと まさこ)

[略歴]

昭和 61 年 3 月	岡山大学歯学部歯学科 卒業
昭和 61~63 年	岡山大学歯学部予防歯科学講座 助手
昭和 63~平成 2 年	医療法人小室会小室歯科天王寺診療所 勤務
平成 2~6 年	正力歯科医院 勤務
平成 6~12 年	東北大学歯学部予防歯科 助手
平成 12~14 年	山下歯科 勤務
平成 14 年 5 月	仙台市にpmj木町通デンタルクリニック 開院

黒瀬 真由美 (くろせ まゆみ)

[略歴]

昭和 58 年	広島大学歯学部卒業
昭和 58 年	岡山大学歯学部予防歯科学講座入局
平成 3 年	岡山市に PMJ 歯科診療所を開業

# 診療室訪問

医療法人社団 東風会 守屋歯科医院



■診療室概要(守屋歯科医院)  
所在地:倉敷市連島町矢柄  
5859  
チェア: 5 台  
スタッフ:Dr2 名、DH5 名、受付  
1 名  
受付時間:9:00~12:00、14:  
00~19:00 休診日:木、日、祝  
日  
患者数:1 日約 35 名

今回は守屋歯科医院を訪ねて、倉敷市と岡山市などに 8 つのクリニックを経営しておられる、東風会の守屋啓吾理事長にお話を伺いました。

—数多くのクリニックを経営しておられますが、分院を始めることになったきっかけについて教えてください。

守屋歯科を開業して 3~5 年くらい経ち、これからは予防歯科だと思っていた頃にちょうど同窓会で渡邊先生に出会って、これだ! と思って渡邊先生に勉強させてくださいと申し出ました。それから、臨床研修医の制度で月 1 回岡大予防歯科の診療室に 4 年くらい通いました。自分の患者を予防歯科に連れて行ってそこでブラッシングするんです。もちろん守屋歯科でもつまようじ法を導入して患者さんをひたすらつまようじ法で磨いていました。そんなときに渡邊先生とこんなやりとりをしました。「岡山市には岡大と PMJ 歯科があるけど倉敷にももう 1 軒予防歯科のクリニックをつくってはどうか。」「ぜひやりますよ。」

また、友達からこんな話がありました。「ビルのテナントの 1 階に空きが出たから歯医者でもどう?」

今から 20 年近く前の話です。当時岡山では分院というのはほとんどありません



でした。資金も必要だけどこれは面白いと思ってどうすれば分院ができるかいろいろと調べまし

た。それから、大変な紆余曲折がありましたが、ようやく 1995 年にスマイル歯科を開設しました。2 年くらいは赤字でしたが、その後ゆっくり軌道に乗って、今は稼ぎ頭になってますよ。

—それぞれのクリニックのコンセプトは違うのでしょうか?

スマイル歯科開設から 3 年後にマーメイド歯科を開設、その後も 2~3 年おきくらいに分院を開設していきました。毎回建て方やレイアウトなどは実験、試行錯誤を繰り返しました。治療に関しては分院長の方針や地域性、来院患者層によって違いますが、予防中心というのは同じです。いくつかコアとなるサービスを挙げていくと、つまようじ法を中心とした予防歯科というのは非常に重要なものです。クリニックによって違いますが、3 分の 1 から半分くらいはメンテナンスの患者です。院長が熱心に取り組んでくれているところはしっかりできていますが、だんだん自己流になってくるところもあるので、年に 1 回くらいはつまようじ法の実習もやっていきたいと思います。



6 月 16 日に行ったつまようじ法研修会の様子

つまようじ法をとり入れた健康管理は、依存型

管理ではなく、患者さんが自立的に健康管理をしていく上でも有効なやり方だと思っています。

### －たくさんの分院をマネジメントするコツはあるのでしょうか？

あまり気にしないことでしょうか。いろんなことが起こりますが、問題を解決するのが僕の仕事だと割り切っています。何か問題が発生したときには、「あ、自分の仕事が来たな」という感じですね。問題は日々発生しますから、そこで嫌だなと思うと、際限なく嫌になってしまいますよ。

それと、私は自分以外にできることは基本的に人にやってもらうという主義です。それを突き詰めていくとだんだんやる事がなくなってくるんですが(笑)。でも、それで残ったのが本当の自分の仕事かなと。

### －4月に経営方針発表会を開かれたとのことですが。

これは一度やってみたかったです。一般企業でも今年度はこういう方針で、みたいなのを



をやっていると思いますが、それを歯科医院でもやったほうがいいんじゃないかと。やはり、コミュニケーションの質と量がまだまだ足りていない。私が何を考えてるのか、どういう方向に向かっているのか、スタッフに十分伝わっていないんですね。発表会では、私だけでなく、各クリニックごとに方針を発表しました。もちろんこれだけではダメですが、こういったことも通じてよりコミュニケーションを図っていこうと考えています。8月には合宿をする予定ですが、そこで今回発表したことに対してどこまでできているかと

いうのをレビューします。

また、ドクター合宿というのもやっています。私のコーチをしてきている人にファシリテーターをしてもらっているのですが、いろいろと気づきがあって面白いですよ。

### －今後の展望を教えてください。

まず、各クリニックを最大化していきたいというのがあります。今はドクター1人のところが多いのですが、複数のドクターがいれば、何かあっても対応ができます。スタッフの人数にも余裕があれば、診療しながら研修も可能です。

今、分院長の間で自転車ブームになっていて、前回のドクター合宿ではしまなみ海道を100km自転車で走ったりもしました。やはり人を健康にしようとしたら自分から健康にならないと説得力がないと思うんです。今、低糖質食の勉強もしてまして、患者さんに歯科治療プラス食生活のアドバイスもできればと取組みを始めています。上海のクリニックは上海在住の日本人向けですが、それ以外の海外展開も考えてみたいですね。他にもやりたいことはありますが、少し寿命が足りないかもしれません(笑)。



守屋歯科医院のスタッフ。右端が院長の味村先生、隣が守屋先生

### 守屋 啓吾 (もりや けいご)

1985年 大阪大学歯学部卒業  
卒業後補綴科に残り、その後川崎医科大学口腔外科で研修  
1988年 倉敷市にて守屋歯科医院を開業  
1995年 スマイル歯科クリニック開設(医療法人化)  
1998年 マーメイド歯科クリニック開設  
2000年 ひまわり歯科クリニック開設  
2003年 パールデンタルクリニック開設  
2005年 中国上海にコスモス歯科クリニック開設  
2006年 グレイスデンタルクリニック開設  
2009年 デンタルサロンハビーナ開設

## ●活動報告

### 予防歯科臨床セミナー(2日コース)

日時:平成 24 年 4 月 21 日(土)15:00~19:00  
4 月 22 日(日)9:00~15:30

会場:総評会館(東京)

参加者数:25 名

#### ■講師

pmj 歯科診療所 黒瀬真由美

小畑歯科医院 小畑文也



### 予防歯科臨床セミナー(基礎編)

日時:平成 24 年 6 月 10 日(日)10:00~16:00

会場:博多バスターミナル(福岡)

参加者数:25 名

#### ■講師

pmj 歯科診療所 黒瀬真由美

小畑歯科医院 小畑文也



### 予防歯科臨床セミナー(2回コース)

・1 回目(基礎編)

日時:平成 24 年 7 月 1 日(日)10:00~16:00

会場:新梅田研修センター(大阪)

参加者数:48 名

#### ■講師

pmj 歯科診療所 黒瀬真由美

小畑歯科医院 小畑文也



## ●会員数が500を超えました!

8 月から当会も 5 期目に入ります。おかげさまで、会員数が 500 を超えました。会員の皆様のご支援・ご協力に感謝いたします。現在の会員の内訳は、団体会員 293、個人会員 212 です。皆様の力をお借りして、一生自分の歯で食べられる社会づくりに向けた活動がますます活発にできればと思います。今後ともよろしく願いいたします。

## ●今後の行事日程

H24 年 月 日	内容	開催地	講師等	時間 (予定)
8/5 (日)	予防歯科臨床セミナー 2 回コース (2 回目)	大阪	黒瀬真由美 小畑文也	10:00~16:00
9/8 (土)	被災地でのボランティア活動	宮城県 亘理町	—	午前中
	お口の健康ネットワーク講演会 「むし歯は食生活習慣病」 「フッ化物をうまく使って永久 歯虫歯のない子を育てよう！」		山田 正 磯崎篤則	14:00~17:00
9/9 (日)	理事会	仙台	—	9:00~11:30
	第 4 回通常総会			12:00~13:00
10/14 (日) 11/11 (日)	予防歯科臨床セミナー 2 回コース	東京	黒瀬真由美 小畑文也	10:00~16:00

※通常総会のご案内は 8 月中旬頃発送させていただきます。会場は宮城県歯科医師会館です。

## ●9 月 8 日 (土) のボランティア活動・講演会について

宮城県亘理町にて、被災地でのボランティア活動及び、むし歯予防講演会を行います。

詳細・お申込は同封のご案内をご覧ください。

## ●事務局より

### Brushing Exercise

北は札幌から南は石垣島まで、2 年間に 55 件の歯科医院さんを訪問しました。

これからつまようじ法を始める歯科医院に。すでに実践され定期的にブラッシング実習し、スキルアップをめざしている歯科医院に。新人スタッフが入社した機会に院内実習している歯科医院に。etc.

20 年間つまようじ法術者みがきをしながら患者さんとの会話を楽しんで診療していました。

今、お口の健康ネットワーク会員の診療室を訪問し、先生や歯科衛生士さん、歯科助手さん、受付の方につまようじ法術者みがきを体験していただきながらスタッフの方との出会いを楽しみにしています。

つまようじ法ブラッシングを実践されている歯科医院は確実に増えています。診療室や訪問口腔ケアなど地域の皆さんの健康の保持増進のためにつまようじ法は活用されています。

(担当歯科衛生士 長浦)



お口の健康ネットワークのフェイスブックページを開設しました。

ホームページ <http://www.oral-health-network.jp/> のトップページ右側にあるフェイスブックのアイコンをクリックしてください。みなさんからの「いいね！」をお待ちしております。

(事務局 草野栄路)

お口の健康ネットワーク会報 Vol.13

2012 年 7 月 10 日発行

発行：NPO 法人お口の健康ネットワーク

〒700-0953 岡山市南区西市 541-1

TEL. 086-244-4692 FAX. 086-244-1351

<http://www.oral-health-network.jp>

会員専用サイト：<http://www.ohn-member.com>

E-mail：[info@oral-health-network.jp](mailto:info@oral-health-network.jp)